

【別紙様式Ⅰ】令和5年度 学校評価報告書

学校名 依知南小 学校

厚木市教育委員会の基本目標
 1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】
 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】
 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】

校長名 関口 明子

学校教育目標

学校経営の方針

インクルーシブ教育を基盤として
 ◎自ら学びよく考える子
 ◎心豊かでやさしい子
 ◎健康でたくましい子 の育成

○ 教育基本法等関係諸法令並びに学習指導要領・神奈川県教育ビジョン・厚木市の教育大綱に基づいた学校運営を展開する
 ○ 児童・保護者・地域の実態を踏まえ、特色ある学校づくりをめざし、学校運営協議会・コーディネーター委員会及び全教職員の協力体制による協働と統一ある運営に努める
 ○ 地域社会の「思い」を大切に、「地域と共にある学校づくり」をめざした運営に努める
 ○ 児童が安心・安全に生活・学習できるように危機管理体制を確立した運営に努める

今年度の重点目標

『共に学び共に育つ』インクルーシブな学校をめざす

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
児童の家庭学習の習慣化	1	家庭学習チャレンジ月間を設定し、家庭への啓発をする。	「自主学習モデル」を各学年ごとに作成したことで、興味のあることを追求する課題に取り組む児童が増えた。一方で、宿題で精一杯の児童もいる。	家庭学習のしかたをよりわかりやすく伝える方法を工夫する。根気強く継続的に習慣化を啓発していく。
基礎・基本の学力の定着	1	学力・学習状況調査の分析・検討 短時間学習・スキルタイムの有効活用	学状の分析を全職員で数回行い、本校の現状と課題を共有できた。保護者・教職員ともに「基礎・基本が身に付いている」と回答する数を増やしていきたい。	15分間の短時間学習・スキルタイム及び、算数の校内研究を中心に、系統立てた学習を行っていく。
すべての子どもが分かる喜びを得られる授業づくり	1	GIGAスクール端末を活用した授業づくり(研修・実践・共有)	職員研修と授業実践を重ね、端末を通して意見を交流する授業の工夫を行うことができた。	授業でのchromebookの有効な使い方や、利用のルールについても確認していく。
明るくあいさつ(学校で・地域で)	2・3	明るく、目を見てあいさつすることの励行	コロナ禍5類以降でもマスク習慣が取れない児童もいるため、活発な挨拶まではもう少し時間がかかる。	コミュニケーションの大切さを意識し、児童同士、地域、教職員等が心のつながりをもったかわりをしていきたい。
自分自身を見つめ目標をもって学校生活を送る	1・2・3	キャリア教育・キャリアパスポートを通して、自己を見つめ他者を理解する。	地域協働行事の参加や、ゲストティーチャーを招いての活動を通して、社会とのかかわりをもつ行事が増えている。	コロナ禍以前の地域協働の活動をしっかりとらえ、互いに協力し合い計画・実施していく。
進んでたのしく運動をする	1	マラソン・なわとび月間	外遊びの楽しさと、継続した運動月間の取組、「運動の楽しさ」を味わえる授業の工夫をしている。	引き続きマラソン等、運動習慣のきっかけになるような活動の推進を図る。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

安心・安全な学校づくりを学校、保護者、地域とともに理解しながらすすめてきた。校舎建替え工事の進捗中、児童の学びや喜びにつながる行事を維持するためにもより一層の連携と相互理解を図っていきたい。また、児童が自ら地域に愛着をもち、よりよくしていこうとする気持ちをさらに醸成したい。

今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針

学校評価は、同じ項目でも場面や状況に応じて、保護者の捉えと児童のふりかえりが異なる場合があった。児童のよりよい学校生活や地域でお互いが気もちのよい生活ができるよう保護者・地域の声を拾い、課題解決に向けて具体策を講じていきたい。